

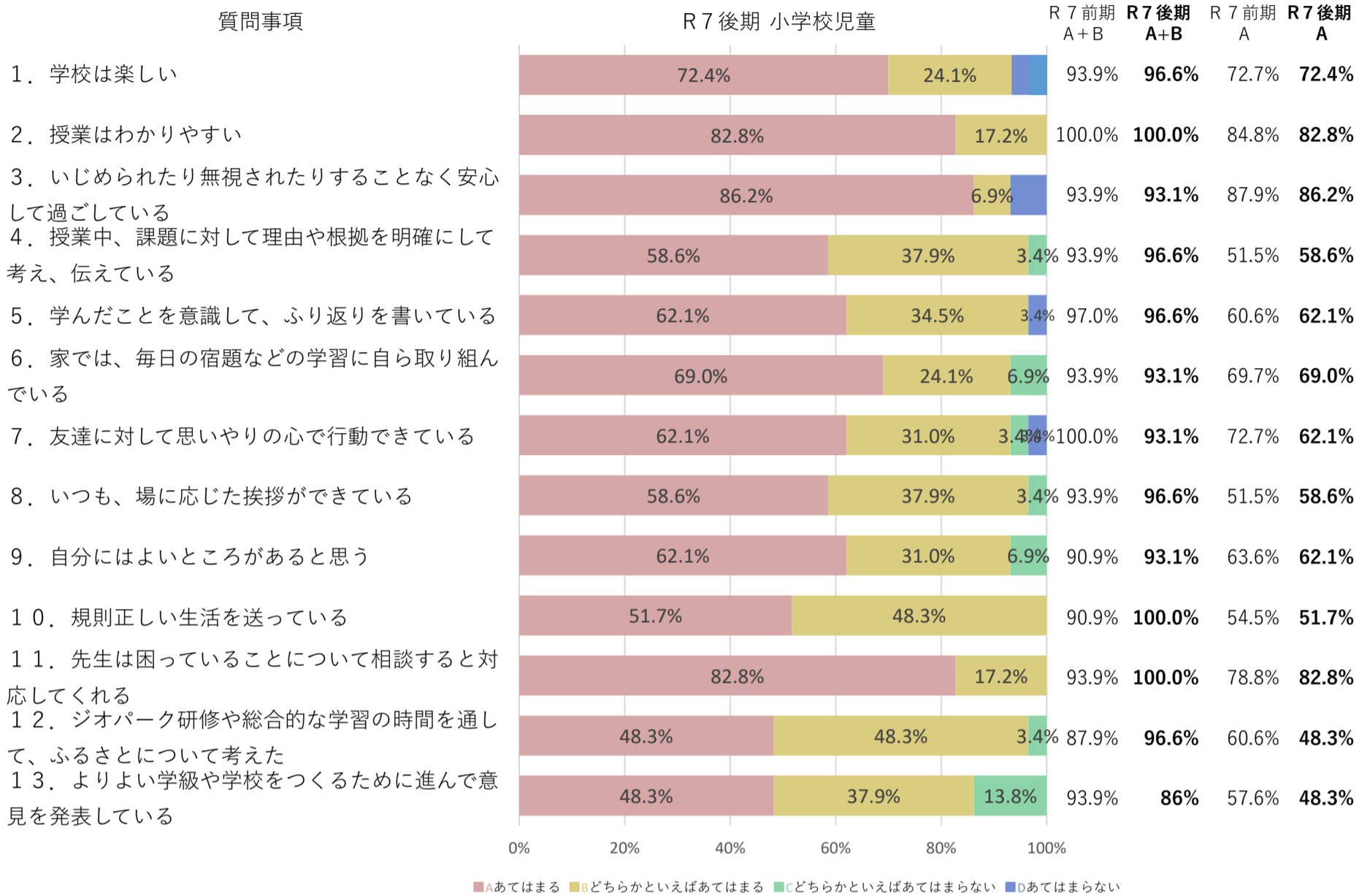
小学校保護者様

白山市立白嶺小学校
校長 高松宏晃

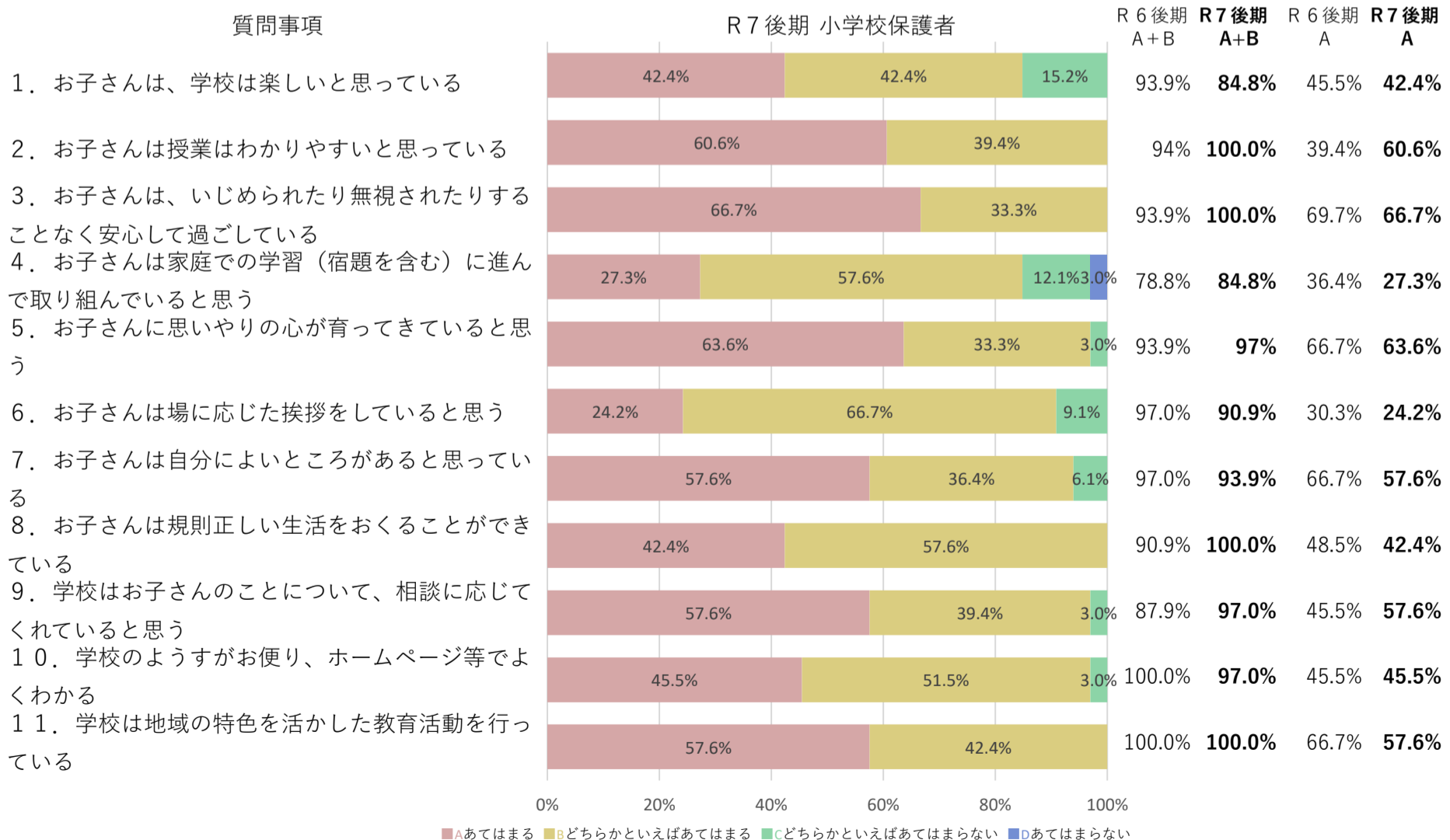
令和7年度後期 学校アンケート集計結果等について

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。前期学校アンケートの集計結果をお知らせいたします。今後この結果を踏まえ、教職員一同、一層の改善に努めていきたいと考えております。

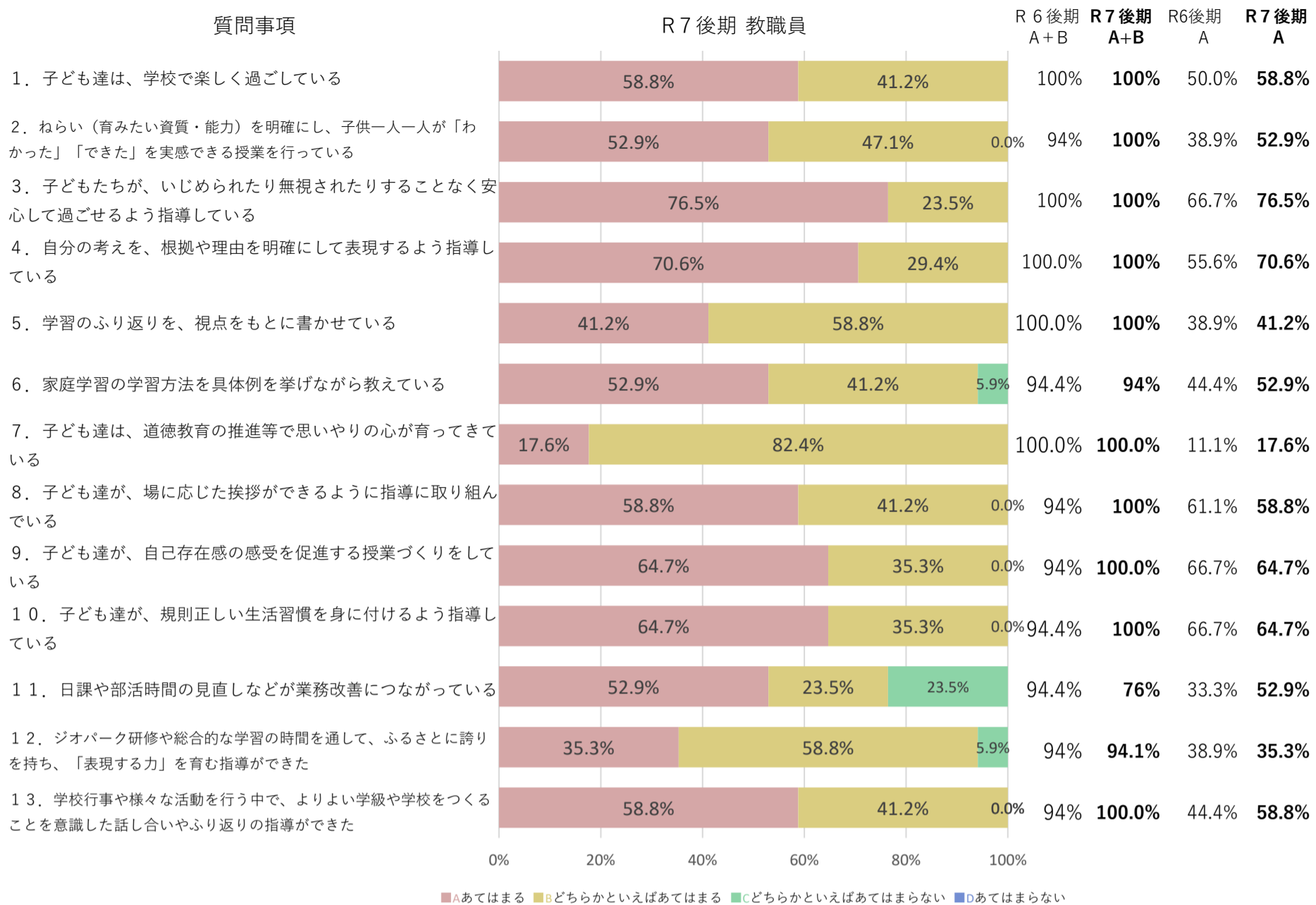
小学校児童



小学校保護者



教職員（小学校＋中学校）



【よかった点○と課題▲と改善点☆】

〈確かな学力の定着について〉

○「授業はわかりやすい」の項目で児童の肯定的評価が高く、児童は、落ち着いて授業に取り組んでいます。学習について、どの項目でもA+B評価が90%以上を保っていました。家庭学習に関する保護者のA+B評価が増加するなど、割合が増加した項目も多いです。1時間に学んだことを自覚するためのまとめやふり返りを充実させることで、できるようになったことや友達から学んだことなどを表現できる児童が増えています。

☆学校の学びと家庭での学びがつながり、力をつけていくことができるように、引き続き家庭学習の個人に合わせた声かけや支援を行っていきます。今後も、一人ひとりが、「わかった」「できた」と実感できるような手立てを今後も工夫し、ふり返りで児童が感じた学びを全体に広げて、みんなで学習する良さを価値づけていきたいと思います。

〈生徒指導面について〉

○「学校はたのしい」の項目は、児童のA+B評価が96.6%と高いです。普段の学校生活の様子や生活アンケートの結果をもとに声かけを行っており、児童は元気に学校生活を送っています。

○「規則正しい生活を送っている」の項目で、児童のA+B評価が100%でした。生活リズムアップウィークの取り組みを通して、「規則正しい生活を送ろう」という意識を持たせることができたと考えられます。

▲「場に応じたあいさつ」については、児童のA+B評価は96.6%と高いですが、保護者のA評価を見ると24.2%とやや低い傾向にあります。

☆規則正しい生活については、リズムアップウィークの中で自分の生活を自己評価し、それに合わせて自分に合った項目を考えるなど、家庭との連携を取りながら取り組みを進めていきます。あいさつについては、学校では教育活動のいろいろな場面において児童とともに、どのような行動がふさわしいか考え、行動にうつすことができるように指導したいと思います。

☆今後も児童の様子を観察し、生活アンケートの結果や児童の困り感に対する面談を行い、きめ細かな指導・支援を心がけていきます。

〈特別活動について〉

○「自分にはよいところがある」の項目で、児童のA+B評価が93.1%と前期より高くなりました。様々な活動の中で、一人ひとりのがんばりやよさを互いに認めることを意識して取り組むことで、児童も自分のよいところや自信を感じることができたようです。

▲「よりよい学校や学級をつくるために進んで意見を発表している」の項目では、児童のA評価は少し減少していました。児童は活動にしっかり取り組んでいますが、「よりよく」「進んで」の部分で、自分で判断しがたいところがあったようです。

☆児童主体を基本に、どの活動においても、ねらいや目標を明確にし、見通しを持たせて取り組んでいくことを共通理解して支援してまいります。今年度も地域の方々の協力のもと、豊かな自然を生かした活動やふるさとの魅力を感じることでできる活動を行うことができました。今後も、学年に応じて、授業以外の場面でも、ふるさとへの思いやよさを児童とともに考えたり触れたりする機会を大事にして、取り組んでいきます。

〈学校関係者評価委員会より〉

・自己肯定感は、目には見えないものだがとても大切である。自信を高めたり、弱点を強みに変えられるような考え方ができるような働きかけも有効である。

・今後もジオ活動等を通して、学校と地域の交流がより盛んになるように取り組んでいくことができるとよい。

